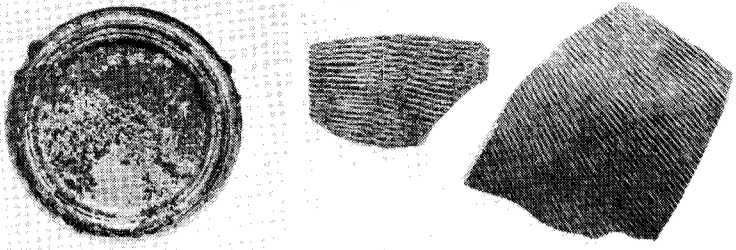


小須戸公民館報

発行所 小須戸公民館
須戸町 中央公園
須戸町 成田常信
須戸町 毎月15日
須戸町 昭和堂印刷所
印刷所 (須戸町) 昭和堂印刷所

堅穴式建物遺跡 九ツ塚

小須戸町矢代田地内 埋蔵文化財発掘



鈴 鼓

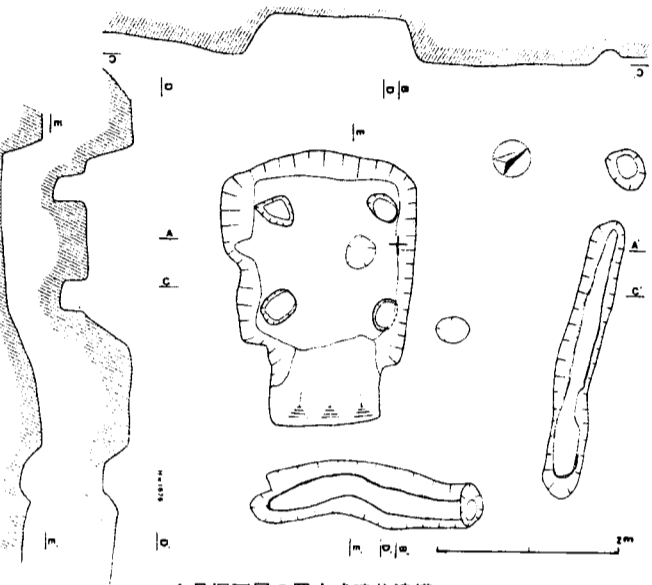
須 恵 器 片

九ツ塚(新潟県遺跡地図に記録されている名称)は、「どろぼう塚」とも言われている。矢代田駅より二百M位下った小高い丘の上にある。明治二十六年頃までは、九ツの塚があったが、矢代田駅設置で消滅し、今回の発掘調査で、発掘した一号塚(仮称)の外、二基(二号塚、三号塚と仮称)を確認した。一号塚は特異な建造物の上に営まれた塚であった。中からは鈴鼓(鈕に紐を通して架台に吊し撞木で叩く梵音具)や土器類が見つかった。

文化財は、私達の祖先が営々と築いてきた文化の遺産であり、一旦破壊されると再現が不可能になります。そして、現在の文化は祖先の築いてきた文化遺産を基盤として成り立っており、それゆえに将来の文化の創造のために、これを保存し、更に引き継いでいくことは、現代に生きる私達の責務ではないでしょうか。

埋蔵文化財は、土地に埋蔵されている文化財でその中心は、貝塚、古墳、城跡等の遺跡で、歴史上、又は学術上価値の高いもの、及び土器、石器、木器、金属器、瓦などの考古資料であり、いずれも土地と深い関わりを持っており、今回の発掘は、旧県道の改良工事と土砂崩れもあって止むなく「緊急発掘調査」となりました。

文化財は、私達の祖先が営々と築いてきた文化の遺産であり、一旦破壊されると再現が不可能になります。そして、現在の文化は祖先の築いてきた文化遺産を基盤として成り立っており、それゆえに将来の文化の創造のために、これを保存し、更に引き継いでいくことは、現代に生きる私達の責務ではないでしょうか。



1号塚下層の堅穴式建物遺構

て間違いないと思う。これらの営みの時代がいつ頃のことであったかは出土遺物に依るところである。ここで使用されたと考えられる土師器、須恵器の内、須恵器においては特徴的なもの把握は難かしいが、越後においてはほぼ十世紀頃のものと思われる。出土銭貨の内一枚は不明文字の形態から、皇宋通宝と見られ、初鑄造年は一〇三九年、他一枚は開元通宝、開基勝宝、開禧通宝が考えられ、それぞれの初鑄造年が六二二年、七六〇年、一一〇五年

金上品全般における形態編年も進んでいることであるが、鈕鼓や伏鈕における編年例を知り得ない。鈕鼓と土器類や堅穴遺構と切り離して考えることも出来ない。この問題はなお今後の事例にゆだねるとして、ここでは一応十二世紀の遺跡、遺物といわざるを得ない。

報告書の一部を紹介しました。発掘調査にあたって、諸先生方を初め、地域及び矢代田地区老人クラブの人達の協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

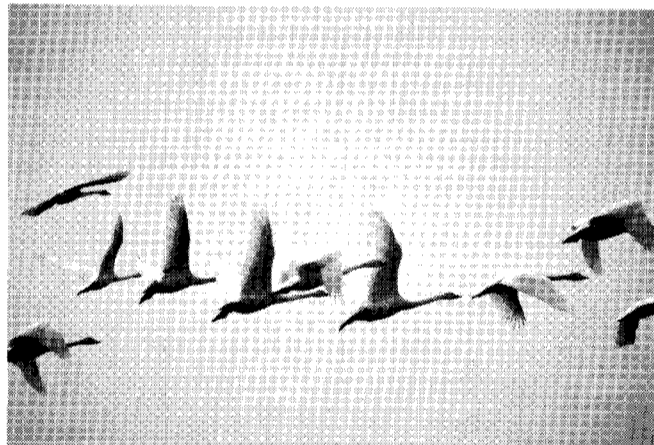


第42回 県展入選

おめでとうございます
小須戸町より次の方々が県展に入選しました。
〔写真部門〕

- 風間源一郎 本町一丁目
- 風間 忠雄 花園町二丁目
- 近藤十三男 新町一丁目
- 高山信市郎 新保三

〔書道部門〕
木伏 閑石(博文) 中央町五丁目
〔日本画部門〕
渡辺 泰一 蔵町一
今月より三回に渡り、県展入選作品をご紹介します。



▲五泉市郊外で、白鳥の飛立つ一瞬を撮影しました。「たび立ち」 新町一 近藤 十三男
日頃、見慣れた風景が朝霧の為思いがけない美しさに出会い、夢中でシャッターを押しました。「秋景」 本町一 風間 源一郎

手づくり尺八愛好家

天ヶ沢二 平間昭一さん

「尺八を吹き始めて十分位は雑念があるんですね、頭の中がカラッポになると、いい音色が出る。自分が尺八を吹いているのがわからなくなるんですね。」と語ってくれた方は、手作りの尺八を愛好する平間昭一さん(天ヶ沢二 五十八歳)である。平間さんは九年前、民謡を始めたきっかけで尺八に魅せられ、以来五十本以上の手作り尺八を作り愛好している。その他習字、篆刻、石磨きとおどろく程多趣味。「私は譜面が読めない、まったくの我流、古曲を吹けない



「材料集めが間に合わない、暇が無いもんで、まっ、退職したらゆっくり取りに行くってね」尺八は精神を統一させ、音色を楽しむもの。と語られた時の表情は、興味を越え、生きがいを見出した人の、はつらつとした「顔」であった。

- ◆新保分館
・ 明るい家庭づくり講演会
・ 家庭問題について豊富な話題で私達に指標を示してくださる更科先生をお迎えして、お話を頂きます。
日時 六月十九日(金)
午後七時三十分より
会場 新保地域研修センター
内容 「明るい家庭づくり」
更科 アイ先生
- ◆矢代田分館
・ 分館婦人学級
日時 六月二十四日(水)
午後七時三十分より
会場 矢代田小学校
内容 開級式、七宝焼(簡単に作れるアロチ等を皆さんで)

分館だより
今月の催しもの
各分館では、様々な活動を展開しています。どうぞ気軽に参加下さい。

俳句を通して仲間づくり

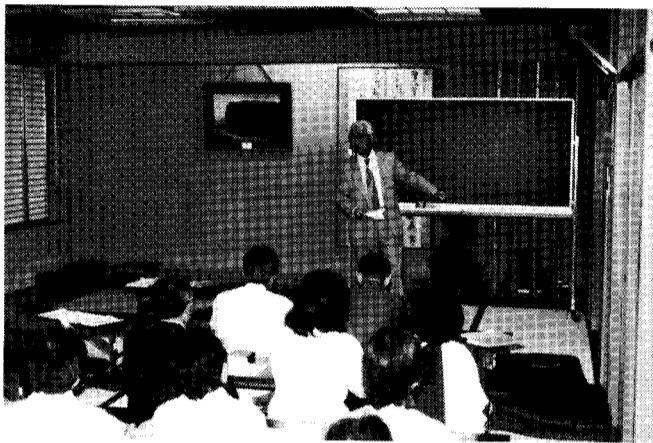
初心者俳句教室開級

去る五月二十四日(日)午後七時三十分より、中央公民館主催「初心者俳句教室」が、中央公民館二階会議室に於て、開級式及び、第一回目の講座が開催されました。講師には神奈川県在住で、活発に俳句活動をしておられる松本雨生先生と、前中央公民館長の間野良知先生をお迎えしました。「初心者俳句教室」には町内外より、四十二名の申し込みがあり町民各位の関心の高さが伺えました。

当日は三十名以上の参加者があり、成田公民館長のあいさつの後、参加者全員が自己紹介をし、共に俳句を学ぶ仲間として相互理解を深めました。

その後講座に移り、講師の松本先生は、俳句について「俳句は五、七、五というわずから十七文字の世界一短かい詩です。そして日本人であれば老若男女を問わず、どんな境遇にあつても、何時の間にか、無意識

のうちに、古今の俳人の句を、二句か三句かは覚えてしまっているのです。それは日本という国の他の国々には無い、著しい四季の変化、島国の風土の中で近代現代を生きた先人達が、その時代時代の歴史、文化を背負いつつ、自然の推移を刻明に詠つており、その俳句にこめられた、哀愴が現代に生きる日本人としての我々の胸に、心のふるさとといった、懐かしい情感を感じさせ、引き起こさせるからです」と話されました。その後、俳句という言葉の由来や、句を讀むには自然と



間を若干延長して第一回目の講座を終りました。「初心者俳句教室」では、実際に外に出歩き俳句を作る吟行会なども計画に取り入れ、俳句を作る楽しさを感じてもらおうと共に、俳句を作る仲間として、会員相互の親睦を深めていきたいと考えています。

中央公民館では、この教室が町民文化の向上と合せて、会員各位のご努力により実りある講座になることを期待しております。

尚、次回は六月十七日(水)中央公民館に於て間野良知先生をお迎えし、「俳句の味わい」についてお話しして頂きます。

秋にはたくさん取れるかな

小須戸小児童の体験学習

六月二日(火)午後三時すぎ中学校近くの埋立したばかりの畑に、小須戸小学校五年生全員と桜学級の子供達のはしゃぐ声が聞こえました。横川浜の池田忠夫さんの好意により、枝豆とサツマイモの苗を皆んなが一生懸命植えている所でした。小学校の体験学習とは、子供達に昔の人達が経験した作業を直接学習しようと、枝豆やサツマイモの他、「ヘチマ、ジャガイモ、米」ともろこし等を理科学習などと合わせ、子供達の手で栽培しているとのことでした。

秋になれば子供達の植えた作物が育ち、たくさん取れる土の恵みを生徒達に与えてくれることでしょう。



図書だより

一般図書
新編のハイキング 日湯日報事業者
ホテル・ストーリー 森 瑤子
幸せの鏡がきこえる 西川ヘレン
花衣ぬぐやまつわる 田辺 聖子

図書贈御礼
梅津 昭二 雁巻
徳永 久美 新町
滝野 修 群馬県
図書室よりおしらせ
六月二十六日(金) 図書室はお休みします。

去る五月二十四日・六月七日の二日間、町内の大津教の皆さんが役場と中央公民館の回りの草取り清掃と花壇の手入れをして下さいました。特に公民館と駐車場東側の花壇が大変きれいになりました。ありがとうございました。

催し物ご案内

新会員募集

会場 小須戸町民体育館
種目 男子団体戦(三人一チーム)
男子個人戦 男子初心者個人戦
女子団体戦(三人一チーム)
女子個人戦 女子初心者個人戦
婦人の部個人戦
参加料 一人百円(当日)

卓球クラブ員募集

小須戸町卓球協会では、仲間を募集しております。卓球の好きな方、やってみたい方、初心者の方も大歓迎

練習日 毎週水曜日・日曜日の午後七時三十分～九時三十分
場所 小須戸町民体育館
会費 一ヶ月四百円
申し込み 公民館事務局へ

第七回 町長杯争奪卓球大会

どなたでもお気軽にご参加下さい。お待ちしております。

日時 六月二十一日(日)
午前八時三十分受付

定期映写会のご案内

七夕にちなんだ映画を用意しました。多数のご来場をお待ちしています。

日時 六月二十四日(水)
午後七時三十分より九時まで
会場 中央公民館二階視聴覚室
映画内容 七夕物語 杜子春
ドナルド・ダックと貯金箱

カラオケ入賞者大会

第一回目からのカラオケ大会入賞者による大会を開催いたします。是非ご来場下さい。

日時 七月十九日(日)
午後一時より
会場 中央公民館三階ホール

幼児家庭教育学級

三才から就学までの子供を持つ両親の教室です。お父さん、お母さん、是非どうぞ

日時 七月七日(火) 午前九時三十分より二時三十分まで
会場 中央公民館
内容 子供に与える良い絵本の見つけ方
主催 中央公民館

新津南高開放講座

先月号で募集しました新津南高等学校開放講座に皆さんも是非参加して下さい。

日時 六月二十七日(土)

役員決まる

小須戸町連合婦人会

午後一時三十分より
会場 中央公民館三階ホール
内容 「子育て再発見」
新津南高等学校校長 惣山 益雄
主催 新津南高等学校

会長 板井 悦(新栄町二)
副会長 石井しげ井(蔵町一)
会計 樋浦 信子(天ヶ沢二)
監査 柴沢 良子(新栄町二)
青木 淳子(本町一)
高橋 和子(雁巻)
理事 藤井春恵(本町二) 中村ヨシイ(本町四) 砂井政子(本町三) 近藤いね子(新町二) 植木百合(若葉町一) 吉田ミイ(本町五) 田沢美知子(矢代田四) 荒井朝子(矢代田八) 池田美代子(天ヶ沢三) 道間則子(鎌倉) 田中イヅ子(ウデコキ) 田沢ハナ(矢代田三)

短歌

竹柏林抜けゆく小径真白なる馬酔木の花の匂ひ漂ふ 我妻清作
わが歯牙に残りしものはわずかに生きてイサザはのどに落ちけり 伊藤照溪
風化して浅き墓銘いにしへの心のほひあること親し 加藤 茂

五月例会作品

小須戸町俳句同好会
公会堂燕来ていて琴の会 護摩堂山背にして撮るや田植衆 弁当の飯粒白し花の昼 糸柳風吹くまに影ゆらく 花吹雪浴びて行く道万歩計 梨村の花の白さに明け早し 春愁や穂先の切れし筆一本 繩張って土地の売り買ひ 錨草 春眠や地震の揺れも夢心地 園児バスゆると発車軒つばめ 嶮然と下馬の札あり花吹雪 晩酌に弾みつけたり木の芽和 農具みな畑に出されて桃の花 花の宿客見てそばを打ちはじむ 電線の張り替え工事燕来る

野 蔚 太 浪 素 糸 松 山 富 沙 子 香 月 露 春 越 楼 久 子 美 根 子 可 津 朋 良 遊 の り 生 秀 穂 虚 秋

短歌クラブ作品

朝まだき嘘に映る薄明かり淡く耀よい春入りきたる 村山 文子
海荒れて鷗惑うや陸に入り東風に逆巻く川面 羽ばたく 野保 好雪
雲仙の熱たきたりたつ地獄谷見れば十字の民 散るを想う 牧野 信雄
早苗田の水面に影を写しつ子等は家路と自 転車を漕ぐ 村山 浩子
茂林寺の墓地にそびゆる樺葉は緑となりて空 をかくしぬ 砂井 政子
足わろき母の手引いて来りきたる幼児は空き し席にすわらす 吉田 久次
園内に脱ぎ捨てられし靴そろろう我れを真似児 等競いてなおす 安達 順子

川柳教室作品

題「味噌汁」
朝寝坊味噌汁の香に目をさまし 武雄
みそ汁の唄を歌ってパンを食べ 常信
味噌汁は二杯と決めて着を置く 清作
海外で味噌汁の味忘れられず 源吾
うす味に馴れさせ嫁の親孝行 まさや
旅に出て一味ちがう汁のあじ 良平
味噌汁はそれぞれ家庭の味がしみ キヨ
味噌汁が上手な姑の後を継ぎ 幸世
妻の留守朝の味噌汁はめてやり 春江
味噌汁へ今朝もほどよく浮く三ツ葉 キン
猫舌のあなたに合わずぬくめ汁 信子
味噌汁はインスタントで嫁二十才 キヨノ
午前様味噌汁だけは飲んで行き タネ
ハイキング味噌の香う鍋かこみ 志枝
味噌汁をレンジですすって新人類 みな